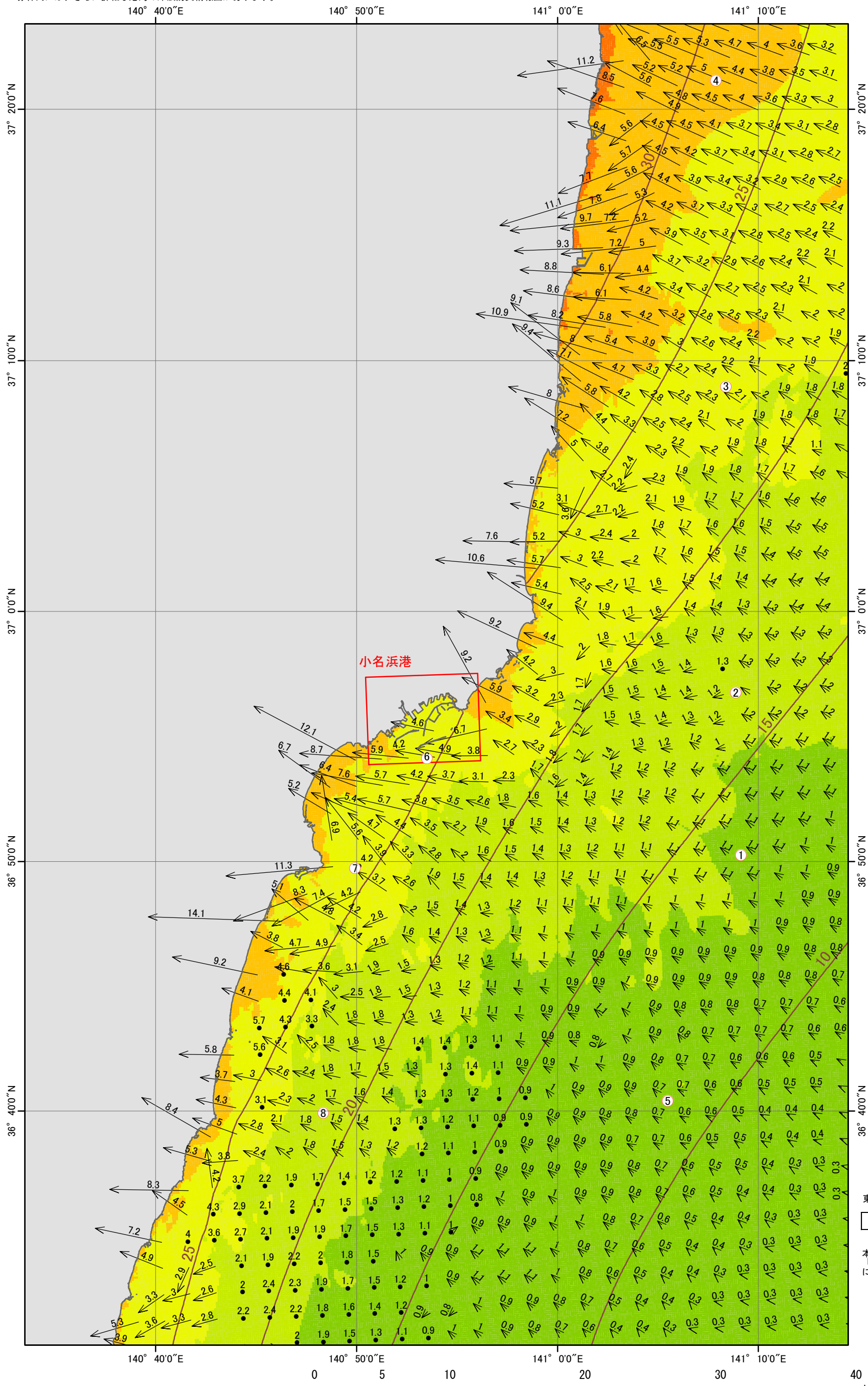


計算条件： 最高水面 (零位)
 隆起量： 平均 -0.63m (-1.18m ~ -0.08m)
 Zo： 0.84m
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。



凡例

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

最大水位上昇

- 10m~
- 5~10m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満

○ 経時変化図出力点

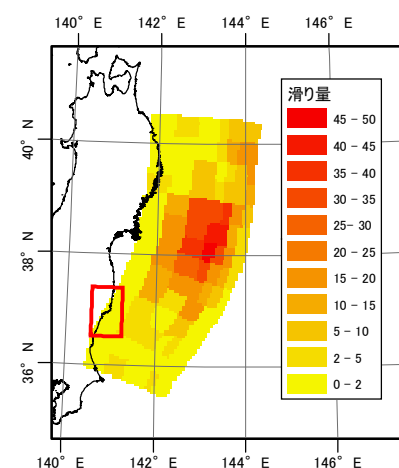
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

進入時最大流 [knot]

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみ表示した。
- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を算出している。

断層モデル



東北地方太平洋沖地震

モーメントマグニチュード Mw 9.0

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会」(平成24年3月1日)により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ